



▶ **MARATHON**
CARBON TEAM / 732,900円
CARBON PRO / 522,900円
CARBON EXPERT / 365,400円

高トラクションで荒れたヒルクライムも余裕

アスリートのために開発されたカーボンXCレーサー。リア100mmトラベルで、唯一i-LINKではなくリーフスプリング構造のドッグボーンを採用し、よりシャープなペダリング感を得ている。マラソンカーボンチームは10.8kgの超軽量モデルだ。



▶ **FORCE**
CARBON PRO / 732,900円
CARBON EXPERT / 522,900円
CARBON SPORT / 417,900円

**ハードなロングライドで
威力を発揮するエンデュランスバイク**

DHレーサーのFURYと同じFOCテクノロジーによる軽量カーボンフレームを採用した上位モデル。リア152mmトラベルなのはサンクションと同じだが、ジオメトリーやコンポなどはペダリングも考慮したもの。カーボンプロは12.1kgでとても軽量だ。



▶ **FORCE**
1.0 / 365,400円
2.0 / 260,400円
3.0 / 197,400円

**コギの軽さを生かしつつ
下りも思いっきり楽しめる**

フォースカーボンのアルミフレーム版で、そのコンセプトは同じである。カーボンモデルが軽さを生かして上りも下りも万能に対応する性格であるのに対して、こちらはアルミフレームの安定感のある走りが楽しめる。コギを重視しつつ下りの走破性もほしいDHマラソンや、やや下り重視のトレイルライドにもオススメ。

▶ **SENSOR**
1.0 / 312,900円
2.0 / 260,400円
3.0 / 176,400円

**オールマウンテン系の
2010新モデル登場!**

アルミフレームで手頃な価格のニューモデル。リア120mmの扱いやすいトラベル量だ。i-DRIVEならではの軽快さで、トレイルライドだけでなくエンデュロレースにも対応。全車種ともフロント15mmスルーアクスルで、高いダウンヒル性能を発揮。



高価

安価



▶ **SANCTION**
1.0 / 522,900円
2.0 / 312,900円

**フリーライドバイクの
常識を覆す軽快な走り**

リア152mmトラベルのフリーライドバイク。ロングトラベル対応の強固なガセット入りフレームや前後スルーアクスルハブで高い走破性を誇る。1.0は内装変速クラック「ハマーシュミット」を搭載。

トレイルモンキー ノリさんのMTBインプレ「裏山鹿」 GT SANCTION編(2009年12月号掲載)

**コーナリングの気持ちよさは秀逸
下りはもちろん、
上りも軽快に走れる万能さ**

「同じリアトラベル量のフォースと比べると、リアサスの自然な動きはサンクションのほうが好印象。素直な動きでペダリングのいやな感触がない。プロペダルを強く設定しなくても違和感なくペダリングができた。同じリアトラベル量でも明らかに異なる乗り味の違いに驚き。コーナリングではシュッとスピードが伸びる感覚があり、コントロール性もいい。コーナーの出口では特に気持ちよさが実感できた。フォークのトラベル量が変わるので、上りや平地ではフォークを短くすればXCバイク的な感覚で軽快に走れる。また1.0に採用されている内装変速のハマーシュミットはじつに変速が素早く、これがi-DRIVEとの相性がいい」



ハイマウントピボットらしい素直なサス特性が感じられた。また明確な下り向けのジオメトリーでありながら、ペダリングも意外なほど軽快だった

「裏山鹿」インプレも再収録

**i-DRIVE全15モデル
フルラインナップ!!**

i-DRIVEはGTフルサスの全モデルにラインナップされる。各モデルの特徴とともに過去に試乗したモデルのインプレッションも再編集してお届けしよう。



▶ **FURY** 837,900円

ペダリングの加速も鋭い最新DHレーサー

リア8.65インチ(約220mm)トラベルのDHレーサー。カーボンの積層を計算して非常に強固に仕上げられたFOCテクノロジーカーボンフレームで多くの勝利を獲得。



**Since1979 最先端を
突き進むGTの歴史**

創始者であるゲイリー・ターナーの名からGTと命名。創業のきっかけは、当時ドラッグマシンのコンストラクターであった氏が息子のためにBMXフレームを製作したことだった。1979年に事業を始め、80年代のBMXシーンには欠かせないビッグブランドに成長。1987年からはMTBも積極的にリリースして、90年代半ばにはジュリアナ・フルタドやマイク・キングなどのヒーローを輩出。同時期にロードバイクでも米国チームをサポート。アトランタ五輪男子1km TTで銀メダルも獲得した。



DHレーサー「LOBO DH」。当時の主力であったLTSフルサスを、軽量なサーモプラスチックフレームに搭載して話題に



ゼネラルモーターズ社との協力で、世界最大級の風洞実験室によって生まれた、幅22mmの超エアロフレーム「スーパーバイクII」



1998年に登場した初代i-DRIVEの心臓部。スイングアーム部の円形リンクによってBBをフローティングするという画期的な構造

上り向き

下り向き